

# なぜ今、動物病院に ソーシャルワークが 必要なのか

## ～スタッフ・飼い主・社会を支える動物医療ソーシャルワーク入門～

「動物医療ソーシャルワーク / Veterinary Social Work」は、人の福祉と動物福祉の両方を守っていく仕事です。Veterinary Social Workerは人の福祉の専門職ですが、アメリカでは動物病院でも活躍しています。獣医療専門職と飼い主との間にはいり飼い主を支えるだけでなく、スタッフのメンタルヘルスも守ります。VSWの知識をもつことで、よりよい動物医療の提供とチーム獣医療へとつながるといえます。

看護職スタッフだからこそ担うことができる側面を理解し、実践する仕組みを作ることで彼らの活躍の場を増やすことができ、さらには飼い主が安心できる環境を整えることができます。ぜひ一緒に学び、連携のとれた世界をつくっていきましょう。

### こんな方におすすめ

- ✓ 動物医療ソーシャルワークを日本の獣医療にどう応用できるか知りたい方
- ✓ 動物医療ソーシャルワークをまずは概要から理解したい方
- ✓ これからの獣医療に必要な非医療的介入を学んでおきたい方
- ✓ チーム医療をもっと機能させたいと考えている方

### 募集要項

日程 2026年3月10日(火)

時間 19:00 - 21:00 (受付開始 18:30)

対象 獣医師 定員 30名

受講料 5,000円(税込) 形式 オンラインLIVE配信  
※アーカイブ配信あり

### ご用意いただく物

お1人様1端末(カメラ付きPC、スマートフォン、タブレット)  
(WEB会議システム「Zoom」使用 ※Wi-Fi環境推奨)

### 講師紹介

山川 伊津子 Itsuko Yamakawa

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 学長  
動物トータルケア学科教授  
博士(学術)・社会福祉士・精神保健福祉士

長年にわたり動物看護教育に携わり、臨床現場と教育現場の架け橋として人材育成に尽力。  
動物を介在させた人の福祉とそれに伴う問題を Veterinary Social Work の視点から教育・研究し、小学校や高齢者施設で活動を実施している。



### プログラム

#### ■ 動物医療ソーシャルワーク(VSW)の基本概念

- ・ VSW とは何か
- ・ VSW の 5 つの領域

#### ■ なぜ今、日本で VSW が必要なのか

- ・ 人と動物の関係性の変化
- ・ 飼い主層の多様化
- ・ 多頭飼育崩壊 / 動物虐待・遺棄の問題
- ・ 高齢者の飼育困難と動物福祉問題

#### ■ 獣医療の中での VSW

- ・ 動物医療従事者が抱える「共感疲労」
- ・ ペットロス・グリーフケアの課題
- ・ 虐待・ネグレクト・飼育困難の早期発見
- ・ チームで取り組む VSW 的支援

#### ■ 獣医師と看護師の役割の違い

- ・ 対人援助職としての動物看護師
- ・ 動物支援と飼い主支援
- ・ VSW 視点を取り入れたチーム医療

#### ■ VSW が仕組みとして定着した世界とは

右記QRコードよりお申込みください。

※お申込みには無料会員登録が必要です。  
※決済方法はクレジットカード決済のみとなります。

